



本会では、県内の食品・飲料関連事業者の販路開拓やビジネスマッチングの機会の創出を目的に、秋田県ならびに秋田県信用保証協会、秋田県信用組合、株式会社秋田銀行、秋田市農産加工品等販売促進協議会、あきた食品振興プラザ等と連携し、アジア最大級の食品・飲料専門展示会である「FOODEX JAPAN 2017」への出展を支援しました。

42回目となる今回は、3月7日(火)～10日(金)までの4日間、千葉県の幕張メッセにおいて開催され、審査を経て採択された県内の食品関連事業者23社が出展しました。

開催期間中は、延べ82,400人が来場し、本会をはじめとする各支援機関の職員が首都圏・海外のバイヤーへ出展者のパンフレットを

配布しながらブースへ誘導し、出展者は、自社商品のセールスポイントを熱心にアピールし商談を行うなど、本県の出展ブースは連日活況を呈しました。

本会では、今後も各支援機関と協力しながら、県内の食品関連事業者の販路開拓に向けた取組を積極的に支援してまいります。



[秋田県ブースの様子]

「FOODEX JAPAN 2017」出展者の声

— 本会が直接支援した出展者へ出展の成果・感想をお聞きしました —

▶ こまち食品工業株式会社(山本郡三種町) — 出展商品「いぶりがっこ缶」 —

缶詰商品を県外向けに出荷したいため出展し、大手通販業者との商談に十分な手応えを感じました。早速サンプルや見積発送に動き出し、価格面での歩み寄りが出来れば販路拡大は十分可能と考えており、出展前にパッケージデザインを変更した効果も大きかったです。



▶ 株式会社鈴木青果問屋(横手市) — 出展商品「山菜水煮」 —

首都圏のレストランや卸売業者を中心に、手応えを掴むことができました。

国産の山菜が全国的に見ても非常に少ないことから、品揃えが豊富な当社の強みを活かしながら今後の取引拡大に結びつけていきたいと考えています。



▶ 渉水産(男鹿市) — 出展商品「ぎばさざえ」 —

業務用としての販路開拓を目指し、大手コンビニチェーンや高級スーパーから前向きなお話をいただいたため、契約に結びつけるまでのフォローをしっかりと行いたいと考えています。また、今後は衛生管理にも注力して取り組むことで、業務用の販路展開に一層務めていきたいです。



▶ 株式会社菓子舗榮太楼(秋田市) — 出展商品「桜咲くさくらゼリー」 —

海外バイヤーからの反応が良く、連日200枚を超える名刺交換を行うことができました。新たな市場の開拓に大いに期待しています。



出展期間中に開催された「ご当地お菓子グランプリ」において、最高金賞を受賞しました。